学年通信　**「照一隅」（一隅（いちぐう）を照らす）**

１２号　２０２１／４

こんにちは。学年主任山田です。２年生進級おめでとうございます。昨年度はコロナ禍で大変な１年間でしたが、元気に頑張ってくれたことを嬉しく思います。新しい学年でも、君たちらしく感謝の気持ちを忘れずに、充実した学校生活を送りましょう。　今回はこの１年間で、様々な表彰を受けた皆さん（部活動は除く）を掲載しました。

表彰

1 年間皆勤賞（98 名）

多くの個人名が掲載されていたため削除

朝読書多読賞（4 名）

多くの個人名が掲載されていたため削除

英語検定（15 名）

【準２級】

多くの個人名が掲載されていたため削除

【3 級】

多くの個人名が掲載されていたため削除

漢字検定

【準２級】

【３級】

多くの個人名が掲載されていたため削除

漢字テスト年間上位者(20 点満点 15 回実施)

多くの個人名が掲載されていたため削除

４月の主な日程

◆４月６日（火）　始業式

１　生徒登校　　**8:30**

※新クラス発表　　昇降口・各教室扉に名票掲示

２　ＳＨＲ　　**8：40～ 8：55（15 分）**

３　新任式・始業式　　**9：10～ 9：50（40 分）**

※新クラス２列　旧担任で整列

（1）新任式

（2）始業式　※クラス担任発表

４　ＬＨＲ　　**10：05～10：55（50 分）**

５　大掃除　　**11：05～11：55（50 分）**

※入学式　式場作成（２年生が担当　各クラス８名）

６　ＳＨＲ・放課　　**12：00～**

◆　７日（水）　入学式　　（在校生　自宅学習）

◆　８日（木）　平常登校開始（**8 時 30 分**登校　朝読書開始）

１・２ｈ　ＬＨＲ

３・４ｈ　学習到達度テスト勉強

５ｈ　学年集会（服装頭髪指導含む）

６ｈ　生徒会役員認証式／対面式

◆　９日（金）　学習到達度テスト他

◆　12 日（月）～平常授業開始

◆　**19** 日（月）～**23** 日（金）　二者面談

◆　**30** 日（金）　遠足

学年通信の表題『「照一隅」（一隅（いちぐう）を照らす）』について

（「学年通信第１号」より抜粋）

もともとは、**天台宗の祖、最澄（767～822）**が、『山家学生式』の冒頭の一節に「国宝とは何物ぞ」の問いに対して、「一隅を照らす 此れ則ち国宝なり」に由来するといいます。「国家にとっての宝とはなんだ？」「社会のかた隅にいながら、その社会を照らそうとする人、その人こそが国の宝である」という意味だそうです。

近年この言葉が、再び大きく取り上げられた事件がありました。アフガニスタンに医師として赴任し、長年にわたってアフガニスタンのために働いてきた**中村哲先生**がテロに遭って命を落とされた事件です。先生は、九州・福岡に生まれ、１９８４年からアフガニスタンに医師として赴任し、長年にわたってアフガニスタンのために働いてきた人です。医師としての活動の他に、用水路の建設に身を投じ「戦乱は武器や戦車では解決しない。農業復活こそがアフガン復興の礎」と農業復活に挑んだそうです。アフガニスタンの大統領が、その棺を担ぎ、死を悼んだことからも、先生の功績の大きさがわかります。その中村先生が、好んで使われた言葉が、「照一隅」だということです。

これを私たちに置き換えてみると、一人ひとりがそれぞれの持ち場で全力を尽くすことによって、社会全体が明るく照らされていく。自分のためばかりではなく、人の幸せ、人類みんなの幸せを求めていこう。「人の心の痛みがわかる人」「人の喜びが素直に喜べる人」「人に対して優しさや思いやりがもてる心豊かな人」こそ国の宝であるということになるでしょうか。今私たちはかつて遭遇したことのない苦境に立たされているのかもしれません。しかし、こんな時だからこそ、私たち一人ひとりが、今できることに全力を尽くして周囲を「照らして」いきたいですね。